


地域情報化アドバイザープロフィール

ふりがな	わしみ ひでとし	
氏名	鷺見 英利	
所属・役職	株式会社官民連携事業研究所 代表取締役 四條畷市 特別参与	
活動拠点	大阪府四條畷市	
略歴	<p>大阪府出身。中国最大の家電メーカー「Haier」の日本における窓口会社ハイアールジャパンホールディングス社長補佐を経て独立し、様々な法人設立を経て、現在は株式会社官民連携事業研究所の代表取締役、そして大阪府四條畷市の特別参与も務める。その起業家の経験から社会課題解決や地域発展を実現する政策の実現や海外企業との連携を様々な自治体や企業にて活用いただいております。</p> <p>また株式会社ママスクエアにおいて、自治体とのテレワーク連携事業の推進、女性のキャリア環境の向上を様々な企業や自治体と連携して展開しております。</p> <p>2012年和歌山県有田市と「全国青年市長会主催 特色ある施策」優秀賞受賞（株式会社アーティフィス）、2013年神奈川県横浜市主催アプリコンテスト「YOKOHAMA Ups」最優秀賞受賞（株式会社ジャパンハウジング）、2018年地方創生に資する「地域情報化大賞 2015」奨励賞受賞（一般社団法人 KAI OTSUCHI）など様々な企業と自治体にてコラボレーションを推進。</p>	
地域情報化の専門分野・技術	<p>外資系企業時代に得たスキルと中国、インド、シリコンバレーとのコネクションから海外の最新技術やグローバルな行政システムの情報を得ることで、それを10年以上の実業家の経験から人材育成や産業振興からテレワークなど様々な自治体の社会問題解決を推進する具体的な事業づくりが主の専門分野。また託児機能付きオフィスで有名なママスクエアにおいて様々な自治体との連携事業を展開。「子供のそばで働ける世の中に」をキーワードに「待機児童対策」から「ママのキャリア環境の向上」並びに「ママにおける地方と中央のキャリア格差の解消」、「ママの狩あブランクの解消」を自治体の持つテーマと合わせた事業を進めている。</p>	
専門分野	働き方 子育て 地域ビジネス スタートアップ支援（起業支援）	
自治体向けメッセージ	<p>地域ビジネスの創造からの産業振興分野を最も得意としております。また働くママを応援するママスクエアの事業の経験を、自治体におけるテレワーク事業の発展、そしてママのキャリア環境の向上、待機児童問題に活用したいと考えております。</p>	
関連サイト	http://mamasquare.co.jp/	
これまでの経験業	<p>・和歌山県有田市にて、12万ダウンロードを超えるみかん農場育成ゲーム「AR-ARIDA」を製作、「全国青年市長会主催 特色ある施策」優秀賞を受賞</p>	

<p>地域情報化に関する実績</p>	<p>務・研究活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・奈良県葛城市にて、吉本興業と連携し紙面連動型 AR ナビゲーション「葛城市 AR ナビ」を開発し、様々な市内観光戦略と連動 ・岩手県大槌町にて、町民だけで構成された法人「一般社団法人 KAI OTSUCHI」を設立、「総務省地域情報化大賞 2015」奨励賞を受賞 ・外国人専門の不動産会社「ジャパンハウジング株式会社」と「一般社団法人 KAI OTSUCHI」が連携制作した iPhone/iPad 用インバウンドに横浜を紹介する絵本アプリが 2013 年神奈川県横浜市主催アプリコンテスト「YOKOHAMA Ups」最優秀賞受賞 ・株式会社ママスクエアの執行役員として、日本全国にワークスペースとキッズルーム、カフェの一体型であるママのテレワーク、キャリア環境の向上と待機児童対策などを解決する施設を展開、奈良県葛城市のモデルが「総務省地域情報化大賞 2016」奨励賞を受賞
	<p>これまでに関与した地域情報化に関するプロジェクト</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・京都府京丹後市におけるテレワーク拠点の開設に地場産業と連携し、実証実験におけるアドバイスをを行いました ・奈良県葛城市においては、事務局として葛城市と地元業者、市外事業者と連携し、「葛城市新時代クリエイション研究会」として地元の ICT を活用した様々なプロジェクトを創出